

【最終】西予市総合計画審議会 グループワーク実施要領

1. グループワークの目的

(1) 市民目線による検証

市職員が分析した課題（図 4）が、市民の実感や現場の状況と乖離していないか確認する。

(2) 戦略の妥当性評価

提示された課題解決のための戦略（図 5）が、有効かつ現実的かを議論する。

(3) 優先順位の整理

多岐にわたる施策（政策）の中で、特に重点を置くべき事項を抽出する。

2. 班構成と役割分担

(1) グループ構成

委員＋サポート職員（ワーキンググループ職員）

(2) 役割

ファシリテーター：議論の進行、発言の整理

事務局：図 4 及び図 5 の解説、記録係

発表者（委員から選出）：グループでまとめた意見を全体共有

(3) グループ分け

【第 1 グループ】

ファシリテーター：西村 会長（愛媛大学 社会共創学部 教授）

井上 委員	宇都宮(久) 委員	宇都宮(正) 委員	小川 委員
-------	-----------	-----------	-------

(担当施策)

総務(3 施策：防災、防犯、公共施設)・政策企画(5 施策：スポーツ、地域、コミュニティ、情報、移住、行財政)・教育(2 施策：教育、文化)・消防(2 施策：火災・救急、消防団)

【第 2 グループ】

ファシリテーター：甲斐 委員（松山大学 法学部 准教授）

シーバース 委員	富永 委員	山下 委員	
----------	-------	-------	--

(担当施策)

生活福祉(4 施策：健康、医療、人権、環境)・福祉事務所(4 施策：子育て、高齢者、障がい、生活困窮者)

【第 3 グループ】

ファシリテーター：グループ内で互選

大氣 委員	津田 委員	古本 委員	中川 委員
-------	-------	-------	-------

(担当施策)

産業(8 施策：産業、商工業、農業、林業、水産業、観光、ジオ、国際)・建設(2 施策：まちデザイン、上下水道)

3. プログラム（計 120 分）

時間	項目	内容
0-5 分	説明	趣旨説明、図 4・図 5 の構造解説（TOC の因果関係の見方）
5-45 分	前半	図 4 「課題分析図」と図 5 「戦略図」とその「期待効果」を読み取る。
45-55 分	休憩	（各グループ進捗状況に応じて）
55-95 分	後半	図 4 「課題分析図」と図 5 「戦略図」とその「期待効果」を読み取る。
95-105 分	まとめ	発表内容の整理
105-120 分	全体共有	各グループからの発表（各 5 分）

4. 具体的な進め方

【図 4：現状課題の深掘り】

「風が吹けば桶屋が儲かる」式の因果関係（もし～ならば、～となる）が正しいか、現場の実感と照らし合わせます。

（例）施策：商工業

- ・『単なる物販の価値低下』とありますが、皆さんが買い物をしなくなった本当の理由は図の中にありますか。
- ・図に書かれていない、商工業を苦しめている『隠れた原因』はありませんか。

【図 5：インジェクションの有効性】

図 4 の課題を解消するために投入された「インジェクション＝対策（販路拡大、デジタル活用、事業承継支援等）」が、本当に「若者が誇りを持って働ける雇用」に繋がるかを検証します。

（例）施策：商工業

- ・『事業と人とのマッチング』が進めば、事業承継が成立するようになると思いますか。
- ・『外貨獲得力を高める』ために、行政に最も期待する支援は何ですか。
- ・副次効果にある『ふるさと納税の拡大』は、商工業者にとってどの程度モチベーションになりますか。